

事業報告書

平成 26 年度

社会福祉法人 和光福祉会

法人事業

中長期計画

地域・社会貢献活動

熊取療育園

熊取療育園相談室

つばさ

共同生活援助事業

わこう

目次

法人事業 中長期計画 地域・社会貢献活動

- P1 理事会・評議員会 ・ 中長期計画実施状況
- P2 地域・社会貢献活動 行動指針 実施報告

熊取療育園

- P4 はじめに～1. 職員の動向
- P5 2. ご利用者の動向～3. ご利用者の状況
- P7 4. 各事業利用率
- P8 5. 施設入所支援
- P13 6. 生活介護事業
- P15 7. 医務
- P18 8. 給食
- P20 9. 行事
- P21 10. クラブ活動
- P22 11. 実習受け入れ状況
- P23 12. 地域交流
- P24 13. 事故
- P25 14. ヒヤリハット
- P26 15. 研修等
- P28 16 .避難訓練
- P29 17. 広報活動

熊取療育園相談室

- P30 特定相談支援事業実績～
- P31 グループ活動

つばさ

- P32 1 .提供日数～5. 事故及びヒヤリハット
- 6. 職員の推移～10. 消防、防災について
- P36 生活介護事業
- P39 就労継続支援B型事業

共同生活援助事業

- P42 1. 支援体制～
- P45 4. 各ホーム事業の状況 若葉ホーム
- P46 第2 若葉ホーム
- P47 みくまホーム・牧野ホーム

わこう

- P49 1. 事業開始 ～ 6. 移動支援に向けて

1. 理事会・評議員会等

日 時	内 容
平成 26 年 5 月 23 日(金)	評議員会・理事会（事業報告・決算報告）
6 月 6 日(金)	社会福祉法人 和光福社会 後援会主催役員ゴルフコンペ開催
8 月 24 日(日)	社会福祉法人和光福社会 30 周年記念行事
11 月 30 日(日)	地域交流フェスティバル
平成 27 年 1 月 23 日(金)	評議員会・理事会（補正予算）
平成 27 年 3 月 27 日(金)	評議員会・理事会（事業計画・予算）

2. 和光福社会 中長期計画 実施状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

1. 計画期間 I 期（平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月）

2. 計画内容

① 既存施設設備の改装・修理・改修

－1 熊取療育園 屋上の防水施行

→平成 26 年 6 月施工完了

－2 熊取療育園 2 階 3 階のトイレの改修及び身障者用トイレの増設

→計画の見直しを検討中

② 新規障がい福祉サービス事業の創設

－1 障がい福祉サービス事業 居宅介護事業の新設

→平成 26 年 8 月居宅介護事業所わこうとして事業開始

－2 障がい福祉サービス事業 グループホームの新設

→平成 27 年 4 月ホームサンフェローとして事業開始

－3 障がい福祉サービス事業 サテライト型グループホームの新設

→平成 27 年 4 月ホームサンフェローとして事業開始

－4 障がい福祉サービス事業 つばさⅡの新設

→平成 27 年 4 月ワークいっぽとして事業開始

③ 既存障がい福祉サービスの拡充

－1 熊取療育園 生活介護事業の拡充

→現状維持、増員にはつながっていません。

ー2 障がい福祉サービス事業 つばさの増員

→現状維持、増員にはつながっていません。

④ 職員の資質向上

法人全体で平成 27 年 2 月に外部講師招聘による虐待防止研修を実施、職場内研修も 2 月から月に 2 回のペースで実施することができました。

⑤ 外部監査・第三者評価の実施

法人監査及び熊取療育園の現地指導がありました。今回は 3～4 年後という事もあり、今後実施にむけて検討していきます。

※中長期計画の 1 期の初年度にある程度取り組むことができました。残りの 2 年間に残されているところの課題をできる限り迅速に実施していきたいと考えています。

3. 地域・社会貢献活動 行動指針 実施報告

昨年度行動の目的並びに行動指針を策定しました。その目的を遂行する為に実行することができたのか、また、できていないところは今後どのような努力をすべきなのかを改めて検証します。

行動の目的

- ① 地域の声を傾聴し、地域とともに発展する組織を目指す。
- ② 地域社会の福祉システムの構築に主体的にかかわり、さまざまなニーズを有する人びとに対する支援の拠点たる役割、機能を担う。
- ③ 地域の活性化、つながりの構築に向けて多様な生活課題の解決に取り組む。

行動指針に基づく現状

- ① 地域に開かれた法人づくりを目指す。

法人の各事業所では見学の依頼やボランティアの開拓や受け入れなど様々な形で取り組んでいますが、まだまだ受動的でより積極的に情報発信や地域活動に溶け込んでいく必要があると考えられます。

- ② 多種多様な機関などとの連携、協力する。

熊取町の施策推進委員会や自立支援協議会などに参画し、町の福祉行政の一助、役割を担う事ができています。今後も昨年度以上に寄与できるよう尽力します。

また、社協との協働による地域貢献委員会では町内の他の法人と連携することができてきていますので、この関係をより一層強いものにしていきたいと考えています。結果として昨年度は地域貢献福祉講座を開催することができ、連携強化とともに理解促進のために力を注ぐことができました。

さらに、この 4 月より泉州南地域施設連絡会を立ち上げました。社会福祉法人が立た

されている現状を少しでも横の連携をとることで協調して取り組むことができる仕組みづくりができればと思っております。

③ 障がい者に対する理解の促進をする。

昨年度は熊取町社協のボランティア連絡会において知的障がい者に対する理解促進のために講演をさせていただいたり、生活支援基礎講座においても講師をさせていただくなど地域の方に対する理解促進に努めさせていただきました。

④ 地域とのつながりを構築します。

通学時の生徒の見守り支援を継続して行う中で、少しずつ顔見知りが増えてきています。この関係をより強固なものとするためにも、地域との協働にしっかり取り組んでいきたいと考えています。

※ 議案 1 にあります生活困窮者レスキュー事業への参画もこの行動指針に則ったものであると考えています。

はじめに

平成 26 年度のスローガン「笑顔、えー顔、楽しい生活」

重点目標

- ①ご利用者の重度化、高齢化を考慮した支援の実施。
- ②ご利用者並びにご家族の思いに応える個別支援計画の立案と実施。
- ③可能性を求めて、地域生活移行を実施。
- ④ご利用者が安心、安定できる環境づくり。
- ⑤ご利用者自治会の充実。

スローガンに関して

「笑顔、えー顔、楽しい生活」を合言葉に取り組みました。

全ての職員がスローガンを意識して取り組む努力をしましたが、全体としてはなかなかご利用者やご家族に満足していただけないことも多々ありました。

その都度職員会議などでも議題として扱い、満足度を上昇させようと努力をしました。

重点目標に関して

支援体制を刷新し、さまざまな取り組みにチャレンジしました。

これまでのご利用者 1 人に対して 2.0 対 1 を 1.7 対 1 に拡充しました。このことにより日中活動の時間帯において支援者を増員しよりきめの細かい支援ができるシフトにしました。特に食事提供場面では多目的室を利用することにより快適に食事をしていただけるスペースの確保、支援方法も変容させてみました。ただ新たな試みという事ですべてがうまくいったわけではなく、若干のマイナーチェンジを必要とすることもありました。

ご利用者の重度化、高齢化に対しては介護技術を持ったスタッフを増員させることで対応にも力を入れました。

自治会活動については、できる限りご利用者主体と言うところに主眼を置きましたが、今後も支援を継続していきたいと考えています。

1 職員の動向

〔採用〕 男性 4 名 女性 2 名

職員名	採用年月日	職種	勤務形態
M. O	4.1	生活支援員	常勤
H. N	4.1	生活支援員	常勤
A. A	4.1	生活支援員	常勤
Y. M	4.1	生活支援員	パート
H. S	4.16	生活支援員	パート
H. K	5.1	生活支援員	派遣

[退職] 男性 1名

職員名	退職年月日	職種	勤務形態
K. M	11.30	生活支援員	常勤

[休職] 女性 2名

職員名	休職年月日	職種	勤務形態
M. N	7.31~現在に至る	生活支援員	常勤
M. T	10.5~27.3.31	生活支援員	常勤

2 ご利用者の動向

- ① 入所（施設入所支援） なし
- ② 退所（施設入所支援） なし
- ③ 新規利用（生活介護） なし
- ④ 入院（3か月以上長期） 1名

ご利用者様名	入院開始日	該当福祉	備考
K. H	26.4.1	泉佐野市	現在に至る

3 ご利用者様の状況

① 年齢 下段については生活介護事業

歳	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～ 59	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～	平均
男性	0 0	1 1	2 2	1 1	4 4	8 8	3 3	3 4	3 2	0 0	1 1	1 1	50.3 49.9
女性	1 1	0 0	1 1	2 2	3 3	2 3	3 3	3 3	5 5	3 3	1 1	0 0	52.9 52.1
合計	1 1	1 1	3 5	3 1	7 7	10 14	6 4	6 8	8 6	3 3	2 2	1 1	51.5 50.4

② 区分 下段については生活介護事業

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
男性	0 0	0 0	1 1	11 11	7 7	8 7	4.81 4.81
女性	0 0	0 0	1 1	13 15	6 6	4 4	4.54 4.50
合計	0 0	0 0	2 2	24 26	13 13	12 12	4.68 4.66

③ 療育手帳 下段については生活介護事業

	A	B1
男性	24	3
	24	3
女性	21	3
	23	3
計	45	6
	47	6

※精神保健手帳保持者 1名

※身体障がい者手帳保持者 9名

4. 各事業利用率

① 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
実利用者数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	636
利用日数計	1139	1174	1125	1180	1151	1128	1184	1126	1174	1176	1018	1186	13761
利用率	1.1	1.09	1.09	1.09	1.06	1.09	1.1	1.09	1.09	1.09	1.08	1.1	1.09

② 施設入所支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月次日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	612
利用日数計	1501	1523	1484	1540	1506	1490	1544	1485	1523	1512	1397	1550	18055
利用率	1.06	1.05	1.05	1.06	1.03	1.06	1.06	1.05	1.05	1.04	1.06	1.06	1.05

③ 短期入所事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月次日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	12	13	11	10	11	11	10	9	11	10	11	10	129
利用日数計	152	165	129	134	137	122	124	129	135	129	121	102	1579
利用率 (5人基準として)	1.01	1.06	0.86	0.86	0.88	0.81	0.8	0.86	0.87	0.83	0.86	0.66	0.87

④ 日中一時支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月次日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	10	0	14	0	0	11	12	0	13	13	11	11	95
利用日数計	27.00	21.25	32.25	35.75	34.75	31.50	29.00	30.00	34.25	24.25	27.00	30.00	357
利用率 (3人基準として)	0.30	0.23	0.36	0.38	0.37	0.35	0.31	0.33	0.37	0.26	0.32	0.32	0.33

⑤ 短期入所・日中一時支援事業利用率(合算)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
短期利用日数計	152	165	129	134	137	122	124	129	135	129	121	102	0.87
日中一時利用日数計	27.00	21.25	32.25	35.75	34.75	31.50	29.00	30.00	34.25	24.25	27.00	30.00	0.33
利用率	0.75	0.75	0.67	0.68	0.69	0.64	0.62	0.66	0.68	0.62	0.66	0.53	1.19

5 施設入所支援

1. 支援について

ご利用者の高齢化や多様化するニーズに応えるために支援体制を 1.7 : 1 及び夜間支援体制 3 名で実施。

同性介助支援が必要な支援以外に関しては、見守りや食事、移動支援などは、スタッフの性差関係なくご利用者に対して支援を行うことができました。

2. 生活状況について

① 4 月から 6 月

4 月、昨年度より日課が変わり特に食事・入浴の時間帯や方法が変わったことにより、ご利用者やスタッフが慣れるまでに少し時間を要しましたが、6 月ぐらいには、落ち着いていきました。

② 7 月から 9 月

熱中症対策として夜間巡回時（0 : 00、1 : 30、3 : 00）に居室の室温と湿度の計測、脱水回避のため、起床時・朝礼前・午前活動後・午後活動前・入浴前・就寝前に水分補給を実施。このことにより、熱中症の発症は有りませんでした。食事提供は、ご利用者の自立を促す目的で 7 月 18 日から多目的室を利用し、自分のペースで楽しく食事する環境を提供し 15 名の方を対象に自立に向けた取り組みを実施。

また、日頃の運動不足の解消と予防の目的で、ご利用者様全員を対象に毎週金曜日の午前中を「軽運動の日」とし歩行、ストレッチ、体幹運動、ボール遊びなど実施し致しました。

③ 10 月から 12 月

ご利用者 1 名の方が 10 月初旬より、他施設の清掃の仕事で時間就労が決まりました。

生活面では、冬場は食事の際温かいお茶の提供のみでしたが、冷たいお茶も一緒に提供しご利用者自身が選んで飲んでいただけるようになりました。

また、暖房器具を使い始めたころから居室の乾燥をふせぐ防止の為、夜間の巡回時に加湿をしました。

④ 1 月から 3 月

24 日から脂肪質・糖尿・肥満の解消の目的に女性 7 名、男性 4 名の計 11 名が朝礼前に 1 階の廊下と多目的室で歩行と軽運動を行っていましたが、今では全ご利用者様を対象に 3 グループ毎に（毎日、（月・水・金）、（火・木・土））分けて、9:30~10:00 と 13:30~14:00 の時間帯に 1 階の廊下と多目的室で歩行と軽運動を行っています。

3. 外出について

① 一泊外出

期 間	外出行き先	男性	女性
7月12日(土)～13日(日)	泉佐野シティーホテル(大阪府)	1	
9月25日(木)～26日(金)	山代温泉(石川県)		4
10月25日(土)～26日(日)	ベストウエスタンホテル(大阪府)	1	
12月4日(木)～5日(金)	鳥羽方面(三重県)		3
12月30日(火)～31日(水)	名古屋方面(愛知県)	1	
3月27日(金)～28日(土)	白浜(和歌山県)		3

② 日帰り外出

4月

日付	行き先	男性	女性	日付	行き先	男性	女性
5	成合方面(花見)	10		14	セブンイレブン	1	
	原子炉(花見)		2		イオン日根野		2
	尾崎オークワ		1	23	かつば寿司	2	
10	イオン日根野	1	永楽ダム		1		
12	近隣センター	1		26	成合公園	10	

5月

6	長池公園	1		18	泉の森ホール	2	
10	長池公園	2	2	23	長池公園	1	
	国際村公園	10		25	長池公園	11	
11	原子炉前ローソン	1		27	イオン日根野		1
	佐野支援学校		1	28	りんくうイオン	2	
17	長池公園	1		29	南小学校・体育朝会	3	1
	成合公園	8		30	かつば寿司・貝塚店	2	

6月

1	南小学校・運動会	7	5	10	りんくうイオン		1
	奈良茶会・西大寺	2	3	11	イオン日根野	2	1
5	イオン日根野		2		和歌山イオン		2
7	イオン日根野	1	2	14	長池公園	1	
	尾崎オークワ		1		イオン日根野	1	
8	近隣センター		1	22	ポケモンセンター	1	
9	みさき公園		2	23	かつば寿司・貝塚店	2	
10	イオン日根野		1		イオン日根野		1

日付	行き先	男性	女性	日付	行き先	男性	女性
25	一心寺		1	26	イオン日根野		1
26	いこらモール		1	29	原子炉前ローソン	1	

7月

1	長池公園	2		12	平野台の湯	2	
5	尾崎オークワ他		1	13	イオン日根野	1	
6	原子炉前ローソン	1		21	イオン日根野	1	
7	イオン日根野		1	22	スリール 369		1
11	イオン日根野	1	1	23	一心寺		1
12	イオン日根野	3	1	24	かつば寿司	2	

8月

5	りんくうイオン		1	24	原子炉前ローソン	1	
11	イオン日根野	1		27	シークル	1	
13	近隣センター	1			かつば寿司	1	
16	関西聖地霊園	6			イオン日根野	2	
18	イオン日根野	1			淡路島		2

9月

2	りんくうイオン		1	15	くら寿司	2	
	アリオ鳳		1	17	熊取町役場	1	
4	りんくうイオン		1	23	セブンイレブン	2	
7	原子炉前ローソン	1		28	原子炉前ローソン		
11	イオン日根野		1	29	イオン日根野		1
13	かつば寿司	1		30	ハーベストの丘		2

10月

4	イオン日根野	1	1		りんくうイオン		2
4	近隣センター	1		23	イオン日根野	1	
11	イオン日根野		2	24	かつば寿司・貝塚店	1	
13	イオン日根野	2		30	イオン日根野		2
14	かつば寿司	1					

11月

1	尾崎オークワ		1		原子炉前ローソン	1	
4	みさき公園		2	10	イオン日根野		2
8	雨山ハイキング	2		11	イオン日根野		1
9	イオン日根野		1	17	イオン日根野		1
	泉南イオン	4		21	南小学校	4	2

11月

日付	行き先	男性	女性	日付	行き先	男性	女性
24	イオン日根野		2	28	かつば寿司	3	
26	イオン日根野	1					

12月

6	イオン日根野	3	1	15	和歌山城	3	
	尾崎オークワ		1		美笹の湯		1
7	原子炉前ローソン	1			マクドナルド		2
9	イオン日根野	1		17	イオン日根野	1	2
11	イオン日根野	1	1		美笹の湯		2
13	近隣センター	1		21	かつば寿司	1	
14	南小学校	10	3	22	関西国際空港		1

1月

1	日根野神社		2	18	成合公園	13	
2	熊取さぬきや		6		原子炉前ローソン	1	
3	水間観音		1	24	原子炉前ローソン	1	
4	水間観音		2		長池公園	10	
5	貝塚市方面		2	25	りんくうイオン	2	
7	セブンイレブン		1	28	南小学校(体育朝会)	2	
16	ケーヨーD2	1		31	成合公園	1	

2月

1	成合公園	1		11	イオン日根野		2
	長池公園	3		15	赤井さんコンサート	5	5
2	成合公園	1		19	かつば寿司~永楽ダム	3	
3	いこらモール		2		イオン日根野	1	
4	長池公園	13		20	王将熊取店	3	
5	眼鏡市場・貝塚店		1	22	泉の森ホール	4	2
6	セブンイレブン	1		25	りんくうシークル		2
7	尾崎オークワ		1		永楽ダム	2	
7	尾崎オークワ		1	26	イオン日根野		1
	長池公園	1		27	原子炉前ローソン	1	
8	成合公園	1			イオン日根野~王将熊取店	2	
	近隣センター	1					

3月

日付	行き先	男性	女性	日付	行き先	男性	女性
7	原子炉前ローソン	1		22	奈良公園	3	
	尾崎オークワ		1	23	平野台の湯	3	
8	長池公園	3		24	和歌山イオン		2
11	りんくうイオン		1		かっぱ寿司	3	
12	関西国際空港		2		イオン日根野～永楽ダム	1	
15	イオン日根野	1		26	りんくうイオン		2
17	イオン日根野		1		イオン日根野		1
18	りんくうイオン		1	27	イオン日根野		2
19	いこらモール		2	29	いこらモール他	1	
21	イオン日根野		1				

6 生活介護事業

作業・内職・介護

① 目標

「達成感」や「自尊感情」を持ってもらう事を目標とする。軽作業を通し働く意義と喜びを知ってもらう事に加え、自立課題学習を取り入れる事で「ひとり」で「達成」する喜びを得てもらい個人の活動意欲の向上を図る。創作活動や運動不足の解消や体力維持、軽運動を活動に取り入れていく。介護ケアが必要な方がおられた場合、個々の状況に応じた対応を行っていく。入浴・リハビリ等を含む。

② 内容

モビロン・・・残糸処理
空き缶つぶし・・・缶の洗浄、及び分別
歩行・・・体力維持と気分転換
軽作業・・・内職（シール貼り）、蝶番組立作業等を行い工賃収入を得る
音楽・・・カラオケや合唱をすることでのストレスの解消
霊園清掃・・・関西聖地霊園での清掃を行う
自立課題学習・・・個人の興味のある物での学習、達成感の向上
園芸・・・植物の育成
製品作成・・・様々な手作り品の生産
おやつ作り・・・材料の買い出しから調理を体験していただく。
足浴・・・フットケア・リラクゼーション
音楽・・・音楽鑑賞、カラオケ、合奏、合唱
季節の行事・・・月毎の季節行事
創作・・・絵画、書道、ペーパークラフト、ちぎり絵
軽運動・・・ボールや遊具を使用した軽運動
歩行・・・屋外歩行・屋内歩行
機能訓練・・・体幹トレーニング（体力の維持・向上）

③ 活動の様子

今年度は蝶番組立作業の依頼が多い時期があり、集中して取組み納期に間に合うよう全員で協力して取り組むことが出来ました。空き缶潰しなどの屋外での作業も徐々に増やし、効率よく作業が出来ました。空き缶のリサイクル業者を新規開拓しアルミ缶で高収益を頂きました。内職の作業も安定して取組まれていました。不燃糸のリサイクル活動については継続して取り組み、それぞれの役割を支援者からの指示がなくても取り組むことができていました。

新たな取組みとして、園芸や手作り品の生産を行いました。園芸では初夏におたふく豆やスナップエンドウ、スモモを食べたり夏にはトマト、へちま、ゴーヤを栽培し収穫しました。秋には春菊やサニーレタスの栽培し、園庭で採れた銀杏の加工、収穫したへちまをたわしに加工し、収穫した農作物や加工品を町民文化祭などで販売しました。販売時はポットの制作も行いました。

毛糸を使った授産製品を制作し販売することをご利用者の制作意識向上につながることが出来ました。

介護面では歩行困難な方等にも出来るだけ運動を取り入れ、創作（行事の飾り作り）などを通して活動意欲の向上や精神面での安定に取り組みました。

④ 今年度収益

タオルの作業が無くなりましたが、結果的に蝶番の組み立てやりサイクルが好調であったため、収益はさほど変化なく推移しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不燃系分別代			2,175	4,995	5,025	3,315	4,035	4,275	3,660	4,560	2,640	3,690	38,370
紙管リサイクル		2,940	8,040	11,640	5,190	8,815	6,690	8,160	9,420	3,020	2,540	800	67,255
段ボールリサイクル			1,980	5,490	4,140	1,890	1,800	3,270	2,820	2,370	5,750	5,450	34,960
N 化工		25,093		8,192	6,081	6,118	5,625	6,255	4,036	4,310	1,853	5,114	72,677
K 金属	8,000						19,000	7,500	10,000				44,500
空き缶				..						17,841			17,841
バザー等								13,310	5,040	5,110		2,100	25,560
K 雪園清掃		1,280					1,170						2,450
合計	8,000	29,313	12,195	30,317	20,436	20,138	38,320	42,770	34,976	37,211	12,783	17,154	303,613

⑤ 収益分配金

工賃として 286,257 円分配しました。残金は来年度へ繰越しています。

7.医務

(1) 定期投薬の状況

定期薬の種別	男	女	合計
内科薬のみ服用	3	6	9
精神科薬のみ服用	17	11	28
内科精神科薬服用	6	5	11
服薬なし	1	2	3
合計	27	24	51

(2) 園内受診者

	平成26年											平成27年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
永山Dr受診者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156	
森脇Dr受診者数	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432	
オーラルケア回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	46	

(3) 定期通院者(永山Dr. 森脇Drの診療を除く)

氏名	通院の状況	科名	病名	備考
Y A	1回/2ヶ月	内科	胃潰瘍 C肝キャリア	
"	1回/3ヶ月	眼科	老人性白内障	
A I	1回/年	婦人科	卵巣腫瘍	
M I	1回/2ヶ月	眼科	白内障・逆まつげ	
"	1回/3ヶ月	整形	脳性まひによる歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/週	石臼鍼灸	"	歩行訓練
M I	1回/2ヶ月	内科	ナツシュ肝	しゃ血
A U	1回/6ヶ月	脳神経外科	迷走神経刺激装置難治性てんかん	
"	1回/3ヶ月	眼科	白内障・緑内障	
H O	1回/3ヶ月	整形	脳挫傷・視力障害による歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/週	石臼鍼灸	歩行訓練	
Y K	1回/2ヶ月	内科	間質性肺炎	
J K	1回/2~3ヶ月	外科	乳がん術後	
Y K	1回/6ヶ月	歯科口腔外科	舌白板症	
Y K	随時	武井皮膚科	アトピー性皮膚炎	
K K	1回/3ヶ月	整形	脳性まひによる歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/1週間	石臼鍼灸	"	歩行訓練
S N	1回/2ヶ月	泌尿器科	排尿障害	
K N	1回/2ヶ月	内科	大動脈弁閉鎖不全・不整脈	
"	随時	神経内科	小脳萎縮	
M H	1回/2ヶ月	脳神経外科	ラクナ脳梗塞	
"	"	泌尿器科	排尿障害・慢性膀胱炎	
Y F	随時	眼科	色素変性症	
H M	1回/2ヶ月	内科	糖尿病	
H M	1回/3ヶ月	整形	変形性膝関節症・両半月版脱臼	膝サポーター
K Y	随時	整形	下肢痛・心因性筋硬直	
"	1回/6ヶ月	内科	慢性心不全	ペースメーカー点検
"	1回/月	泌尿器科	心因性排尿障害	バルン留置

(4) 通院状況

科名	受診者数	通院日数
内科(定期含)	18	71
外科(定期含)	18	64
整形外科	15	37
脳外科	6	15
精神科	0	0
歯科	12	104
眼科	7	25
耳鼻科	49	110
皮膚科	10	17
神経内科	1	1
婦人科	2	2
泌尿器科	4	17

(5) 入院状況

氏名	科名	入院期間	内容
K H	精神科	H25年7月31日~	薬調整
K Y	眼科	7月2日~7月5日	左白内障手術
K Y	"	8月6日~8月9日	右白内障手術
K Y	泌尿器科	H27年3月16日~	尿路感染

(6) 救急時間外(休日・救急)通院

月日	氏名	病院名(科名)	症状(病名)
3月25日	A U	佐野記念病院脳外科	発作時頭部打撲
3月28日	T I	佐野記念病院脳外科	転倒による後頭部裂傷

(7) 検査

検査項目	受診者数	受診日数	検査項目	受診者数	受診日数
検血	50	127	C T	5	5
胸部レントゲン	14	17	胃ファイバー	1	1
その他レントゲン	12	26	大腸ファイバー	0	0
脳波	0	0	MRI	1	1
エコー	6	8	検便	2	2
心電図	4	5			

(8) 各種検査

検査名	実施日	人数	実施場所
胸部レントゲン(65歳以上)	8月19日~3月18日	6	永山病院・住民検診
婦人科検診	10月22日	2	住民健診

(9) 毎月の通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	5	6	5	6	6	5	14	3	7	9	4	2	72
外科	3	10	10	2	5	2	3	14	3	10	1	1	64
整形外科	3	1	2	2	2	1	5	1	5	7	4	4	37
脳外科	0	1	2	1	0	2	1	0	2	0	0	6	15
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	5	11	8	2	3	5	6	12	14	5	14	19	104
眼科	1	7	1	2	4	2	2	1	1	0	0	4	25
皮膚科	1	3	1	0	1	1	1	0	0	1	5	3	17
耳鼻科	33	0	2	5	4	1	0	46	1	36	0	0	128
泌尿器(婦人科)	3	2	4	3	2	3	2	3	2	3	0	2	29
神経内科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
エコー	1	2	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	8
胸部レントゲン	1	5	0	1	1	0	0	2	1	1	0	5	17
その他レントゲン	0	1	1	0	1	1	5	0	5	7	4	1	26
心電図	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	5
検便	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
胃透視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃カメラ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大腸カメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
C T	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	5
脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検血	1	49	5	2	4	1	7	45	6	1	4	2	127
	57	100	44	26	35	26	47	130	51	80	36	52	684

年間外来通院(定期通院 検査通院含む)684日(延べ日数)となる。

(10)個別通院状況(男性) (H26年4月~H27年3月)

	内科	外科	整形 外科	脳 神経 外科	精神科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿 器科	神経 内科	胸部 X-P	他の X-P	エコー	心電図	MRI CT	胃・腸 カメラ X-P	検血	脳波	検便	計
K I	1	0	0	0	0	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	19
T I	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7
H O	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	9
M O	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
S O	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	9
K K	1	1	0	0	0	8	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	17
Y K	0	0	2	0	0	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	10
K S	8	2	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	21
M S	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10
N T	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
K T	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
S T	0	0	0	0	0	10	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	16
S N	0	0	0	0	0	0	0	3	1	7	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	14
T N	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	6
K N	7	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	5	0	0	17
M N	1	4	0	0	0	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	17
K H	0	4	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10
Y H	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
A F	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	16
M F	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8
K H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
T M	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	8
N M	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	6
K M	0	0	0	0	0	11	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	17
K M	0	0	0	0	0	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	13
S Y	0	0	0	0	0	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10
K Y	2	2	3	0	0	0	10	3	0	11	0	2	2	1	2	0	0	3	0	0	41
計	22	24	15	2	0	66	11	76	6	18	0	6	9	3	3	0	1	58	0	0	320

(11)個別通院状況(女性) (H26年4月~H27年3月)

	内科	外科	整形 外科	脳 神経 外科	精神科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿 科 婦人 科	神経 内科	胸部 X-P	他の X-P	エコー	心電図	MRI CT	胃・腸 カメラ X-P	検血	脳波	検便	計
Y A	6	1	1	0	0	0	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	22
A I	0	0	0	0	0	20	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	29
M I	0	0	1	1	0	0	5	1	6	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	18
M I	5	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	12
A U	0	0	0	4	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	12
M O	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7
Y K	11	1	5	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	7	0	0	32
Y K	0	0	5	0	0	0	0	4	2	0	0	1	4	0	0	1	0	2	0	0	19
J K	6	13	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3	0	0	0	6	0	1	32
K K	0	4	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10
N S	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
K S	0	5	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	1	15
F T	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	5
H T	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
E N	5	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	19
M H	1	0	0	6	0	0	0	2	0	8	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	20
S F	0	0	0	1	0	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11
M F	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	1	0	2	0	0	10
Y F	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
E H	0	0	0	0	0	9	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	14
F M	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	8
H M	7	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	6	0	0	20
H M	5	5	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	1	1	1	0	0	2	0	0	21
K Y	0	6	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	12
計	50	40	22	13	0	38	14	52	11	11	1	11	17	5	2	6	0	69	0	2	364

8 給食業務

① 保健給食会議

利用者（男女各複数名）と支援員より男女各 1 名選ばれた給食委員と、園長、看護師、調理師（ナフス㈱）、栄養士（ナフス㈱及び当園）、ナフス㈱管理担当者によって月に一度実施。

今年度のご利用者給食委員は男女各複数名が給食会議ごとに各 1～2 名の出席となりました。

この会議では主に利用者の食事への希望を知らせていただき、利用者の食事と健康面への配慮が話し合いました（ここで出た献立への希望は、可能なものから次月献立に取り入れます）。

それ以外にも給食にかかわることはここで話し合います。

給食委員（利用者）の主な仕事は保健給食会議で各フロア利用者からの要望・提案等を伝えること、他の利用者のパンの選択を手伝うこととしました。

② 嗜好調査

年 2 回（夏期と冬期）料理写真や料理本等を使用し、利用者さんに食事アンケートを実施。

ご自身で回答できない方は、職員が普段の状況から好み等を知らせてくれました。その結果、提供可能なものは次月献立に取り入れました。

③ 選択食

自ら選択・決定することを目的（健康面を考慮して決定出来るようになることが理想）とし、結果を尊重しました。

◇ 昼食 2 種より選択

ほぼ月一回。

職員会議に合わせて実施（出勤職員数が多いため）、昼食 2 種のうち実物を見てご利用者がどちらかを選択。

◇ 菓子・調理パン

ほぼ月二回。

給食委員が写真入りパンメニューを用いて、ご利用者がパンを選拓。

④ 季節の行事食

季節の行事などにあわせて提供している食事。

可能な範囲で一般家庭の季節の行事と同様にしたいと考えて実施。

調理従事者は日々、衛生面に細心の注意を払いながら、味付け・食べやすさ・見た目に注意を払って調理しています。

⑤ 食事に配慮の必要な利用者の状況

(ア) 病名、人数と食事における注意点

大動脈閉鎖不全	1 名	エネルギー制限、タンパク質不足に注意
肝炎ウィルス感染者	5 名	ミネラル類不足注意、過剰エネルギー摂取による脂肪肝予防、鉄摂取量過剰に注意、タンパク質不

		足に注意
糖尿病・肥満	11名	エネルギー制限
横隔膜ヘルニア	1名	消化吸収しやすい物、刻みとろみ食
視覚障害一級	1名	自助食器使用（※自助食器は他にも使用している方あり）

上記含め摂取量を定めたほうが良いと考えられる方々は、ご飯を盛り切りで提供しています。

（イ）上記以外の個人対応

補助食個人購入 4名

※他に急な体調の変化等に合わせて食事を提供しています。

⑥ 栄養ケアマネジメント

以前より行ってきたことをはっきりと書類にしたともいえます。

利用者さん一人ごとにご本人・ご家族の健康に対するご希望をうかがい、ケアの目標を決め達成するように努めています。

⑦ 備蓄食品の管理

災害時の備蓄用食品を保管し、消費期限に合わせて通常献立に組み込んで入れ替え、非常時に備えています。

9 行 事

今年は30周年式典があり、熊取町公民館で祝賀会と落語三昧を行いました。フェスティバルは涼しい時期に行い、ご利用者様、地域の方々にも好評で特に体力的に配慮、身体的介助が必要なご利用者様が楽しむことができました。

年々高齢化しつつあるご利用者の体力を考え、園内での行事の充実を図りました。納涼会での盆踊りはボランティアの方々を多数迎え、ご利用者の方々も事前に踊りを練習するなどして、大変良い思い出となったようです。

その他、クリスマス会では自治会で意見を出して頂き、工夫を凝らしたクリスマスを楽しんでもらいさらに職員の演奏会なども行い、ご利用者、職員共に楽しむことができました。地域でのバザー出店の機会を増やすなど地域交流も活発に行いました。

<行事の実施状況>

日 付	行 事 の 内 容
5月 12日 (月)	春の旅
6月 1日 (日)	南小学校運動会
8月 14日 (木)	納涼会
8月 16日 (土)	関西聖地霊園 夕涼み会
8月 24日 (日)	30周年記念式典
9月 14日 (日)	町民体育大会
10月 18日 (土)	スポーツフェスタ
10月 21日 (火)	秋の旅
11月 2日 (日)	町民文化際
11月 19日 (水)	ナイスハート運動会
11月 30日 (日)	法人フェスティバル
12月 7日 (日)	農業祭
12月 24日 (水)	シーツ交換
12月 27日 (土)	仕事納め・年末行事
1月 6日 (火)	新年会
1月 18日 (日)	人権フェスティバル
3月 6日 (金)	南小学校コンサート

10 クラブ活動

<p>茶道クラブ</p>	<p>講師 : 平川 輝子氏 (裏千家)、岡 保美氏 クラブ員 : 12名 活動日時 : 毎月第2火曜日 午後1:30~ 内容 : 26年度も町の文化祭に出店し、地域の方への活動のアピールも行いました。</p>
<p>ヨーガ</p>	<p>講師 : 杉山 和孝氏 クラブ員 : 希望者 活動日時 : 毎月第3火曜日 午前10:15~ 内容 : 講師の動きに合わせて、ストレッチを中心に行う。体を自らほぐすという事が難しいとされるご利用者も長年の経験で上手にできるようになっています。</p>
<p>歌体操</p>	<p>講師 : 西川 美代子氏、竹中 葉子氏 クラブ員 : 希望者 活動日 : 毎月第2水曜日 午前10:15~ 内容 : 講師の方の歌に合わせて体を動かす、手指を動かす、そしてリズムに合わせて体を動かすなど、楽しみながら健康的に動く活動で、ご利用者も楽しんで参加することができています。</p>
<p>色ワーク</p>	<p>講師 : 成田 イクコ氏、黒岩 徳子氏 クラブ員 : 10名他希望者 活動日 : 毎月第1水曜日 午後1:30~ 内容 : ご利用者に自由に絵を描いていただき、その絵の様子や色遣いなどから、現在の心的な状態についての助言をいただくなどの活動を行っています。</p>
<p>ハッピーブレイン体操</p>	<p>講師 : 田中 美幸氏 総谷 秀美氏 クラブ員 : 希望者 活動日 : 毎月第2木曜日 内容 : 軽快な音楽とともに呼吸法やストレッチなどに取り組みました。活動開始2年目ということで、ご利用者も慣れてきました。昨年度同様ご利用者とのスキンシップを積極的に取り入れていただきました。</p>

11 実習受け入れ状況

社会福祉実習

南海福祉専門学校	11/27-12/20 2/23-3/2	男性 1 名、女性 1 名 女性 1 名
----------	-------------------------	-------------------------

施設実習（幼児教育）

帝塚山学院大学	2/16-2/26	女性 1 名
---------	-----------	--------

常磐会短期大学	6/2-6/14 9/28-10/8 10/13-10/23	女性 2 名 女性 2 名 女性 2 名
---------	--------------------------------------	----------------------------

南海福祉専門学校	9/29-10/9 10/14-10/24	男性 1 名、女性 1 名 女性 1 名
----------	--------------------------	-------------------------

12 地域交流

① 地域の南小学校との交流

6月1日

南小学校運動会 利用者6名、職員4名で参加

11月30日

法人フェスティバルに南小学校生徒来園 よさこいソーランを披露していただきました。その後、生徒の手作り品を販売、売上金を寄付していただきました。

3月6日

南小学校生徒60名来園し、コンサートを行っていただく。

② イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン活動

4月10日 利用者3名 職員2名

4月11日 イエローレシート贈呈式参加

5月11日 利用者2名 職員1名

6月11日 利用者3名 職員1名

7月11日 利用者2名 職員1名

8月11日 利用者2名 職員1名

9月11日 利用者3名 職員1名

10月11日 利用者2名 職員1名

11月11日 利用者2名 職員1名

12月11日 利用者2名 職員1名

1月11日 利用者2名 職員1名

2月11日 利用者2名 職員1名

毎月11日に日根野イオンで幸せの黄色いレシートキャンペーンPRを実施しています。黄色のレシートを投函された分の金額の1%が還元されます。

年に1回贈呈され、頂いた助成金で必要な品物と交換しています。

今年度も地域の皆様の協力で70,500円（園芸用品・糸購入予定）頂きました。

③ 外部活動

今年度より、地域の方々に熊取療育園を知ってもらう機会や、交流の機会を増やすため各種イベントに参加し、地域との交流を図りました。

11月2日 町民文化祭 茶道クラブでお茶席、野菜や授産製品をバザー出店

12月7日 農業祭 野菜や授産製品をバザー出店

1月18日 人権フェスティバル 野菜や授産製品をバザー出店

13 事故

① 車両事故

日時	事故の内容	対応	備考
10/7	縁石とタイヤホイールの接触	運転に支障なしと判断。	
12/22	電柱と車両後部の接触	運転に支障なしと判断。	

② 投薬に関して

日時	内容	対応	備考
6/6	他人の薬を飲ませてしまった。	水分を多量に飲んでいただき、その後バイタル測定しながら様子観察。	
6/20	同じ薬を二重にのませてしまった。	水分を多量に飲んでいただき、その後バイタル測定しながら様子観察。	
6/21	同じ薬を二重にのませてしまった。	水分を多量に飲んでいただき、その後バイタル測定しながら様子観察。	

③ 物損、捜索など

日時	内容	対応	備考
6/30	夕刻、所在不明となる。	戸外へ捜索。無事に見つかる。	
9/8	夕刻、他の事業所スタッフより戸外で歩いているのを発見。	スタッフ2名で迎えに行く。	
9/9	歯科治療中に足が当たりケースが破損。	弁償させていただくことで了承を得る。先方よりは気にしないでくださいとのこと。	以降、診療時の対応に注意。

④ 怪我など

日時	内容	対応	備考
9/9	自らの靴を踏み転倒。	止血後、大事をとって通院。CT検査、異常なし。	
9/16	入浴中に他のご利用者の頭部にかみつく。	かみつかれたご利用者が肝炎のキャリアであったので、噛んでしまったご利用者にワクチン接種していただく。	様子観察で特にアレルギー反応に注意。感染する子もなく経過。
10/17	スタッフルーム入口で転倒。	17日の雨通院。レントゲン検査異常なし。	湿布のみ処方。
10/21	外食時にドリンクバーのホットコーヒーを運ぶ際に火傷。	当日は軟膏塗布。翌日に通院。	
12/15	階段で他の利用者に押される。スタッフが間近にいたので支える。	外傷はなかったが、心的ショックより、意識が混濁。通院し東部から胸部のレントゲンやエコーなどを施行。異常なし。	様子観察させていただきましたが特変なし。
12/19	夕食時に手の腫れに気付く。	レントゲン施行、骨折と診断。	約1ヶ月ギブス、食事などの介助を行いました。
12/20	本人より打ち身の報告があった。	念のため通院。レントゲン施行、骨には異常なし。	痛み止めと湿布施行。
1/22	屋外歩行後、ぎこちない動きを発見。	レントゲン施行、足首の骨折。3~4週間、しーね固定の指示。	日中は車いすにて移動していただく。
3/25	発作による転倒。	意識回復後、通院しCT検査、異常なし。	

3/28	入浴後足を滑らし転倒。	後頭部を強打したためレントゲン施行、異常なし。裂傷部を医療ホチキスにて縫合。	
3/30	自傷による裂傷。	スタッフの声掛けにて安定を欠き、自傷に至る。	本人が通院拒否し、テープにて固定。

14 ヒヤリハット報告

事故や物損などに至らなかったが、職員が「ヒヤッ」としたり、「ハッ」と気付いたことを記録として残すことにより大きな事故へと至らぬよう会議などで全体化するよう努めています。

月	件数	主な内容
4	4	与薬忘れ、返却忘れ。大事に至りませんでしたでしたが、命にかかわることもあるので注意するよう助言。
5	1	口内に異物発見。居室や廊下においているものなどを口にするご利用者が居るので衛生面に配慮するよう助言。
6	2	食事後の清掃時において錠剤が落ちているのを発見。該当者を見つけ、様子観察。ダブルチェックでの服薬を徹底するよう助言。
7	1	突然安定を欠き園より飛び出す。すぐ外にスタッフがいたため大事には至らず。安定を欠く理由をよく把握するよう助言。
8	2	スタッフ不在の折に鍵の締め忘れがあり、室内に入って冷蔵庫の物をとろうとすることがありました。もう1件は男性利用者の性的不穏行動を発見するなど。
9	0	
10	4	与薬ミス。ダブルチェックにて与薬との決まりがあるが時折守れていないことがあり、ミスが生じている。再度ダブルチェックの必要性を助言。その他はご利用者がこけて尻もちをつくなど、軽微ではあるものの、気配りをするよう助言。
11	4	ご利用者のタンスの中からたばこの吸い殻が発見される。館内は禁煙なので原因を追究、喫煙場所での吸い殻をスタッフルームのごみ箱に捨て、それをご利用者が持って行ったと考えらえる。喫煙者のマナーとしてたばこの吸い殻は館内で処分しないことを徹底。ほかは与薬に関して再度助言。
12	1	与薬後、呑み込めていなかったのか、掃除のときに錠剤が見つかる。口に入れたところまでは確認できていたので口からこぼれた物と思われる。
1	4	与薬に関して日付チェックミス。薬の内容が同じであるので大きな問題とはならなかったが、ダブルチェックで間違わないようにすることを再度助言。
2	2	1件は与薬時の日付チェックミス、もう1件はご利用者が園庭の倉庫横に入り込んでしまい出られなくなったとのこと。事後、その場所に入り込めないように工夫をしました。
3	4	2件はご利用者の軽微な転倒、但し怪我がなかったから軽微となっただけなのでより気を配るよう助言、もう1件は与薬ミスによるもの、あとの1件は喉詰めであり、見守りが不十分であったと思われ、スタッフ数にかかわらずしっかりと見守ることを確認。

昨年度に比べ多くなっていますが、軽微なことでも書面に残すこと、それを全体化して注意していくことが大切であることを再度認識できました。喉詰めについては昨年度よりも減少傾向にあります。

15 研修等

① 研修・定例の会議など

主催もしくは後援等	研修内容	参加者	日時
大阪知的障がい者福祉協会 生活支援部会	施設長会議	T. K	5/9、8/29、10/10、12/12、2/6
	地域支援部会		7/23、9/25、11/17、1/23、3/18
知的障がい者福祉協会	近畿地区施設長等会議	T. K D. M	12/2、3
	近畿地区職員研修会		2/12、13
大阪府社会福祉協議会等	地域貢献について	T. K	7/5、7/25、1/27
大阪知的障がい者福祉協会 生活支援部会	幹事会	M. N	5/9
		D. M	9/12、12/5
大阪知的障がい者福祉協会 支援スタッフ部会	幹事会	Y. M	9/5、10/17
経営協	総会・研修会 法人役員研修	T. K	6/9
		H. M	12/20
		T. K	1/24、2/7
大阪府など	集団指導	T. K	5/22
	人権研修	H. M	10/7
	SHL・OPQ解釈	K. I	5/14
大阪府社会福祉協議会	感染症予防など	K. H	7/17
日本栄養士会 大阪府栄養士会	生活習慣病対策や疾患 に対する食事等 に関して	S. F	5/14、24、31、7/13、9/28 10/28、12/11、2/7、2/22、 3/7、3/9、3/11
			6/16、9/8
大阪大学	臨床栄養研究会	S. F	9/7
YMCA	病能栄養セミナー		12/12
府社協、その他	在宅療養者の栄養ケア 食事摂取基準 2015 泉州ブロック災害体制		12/25 1/27
大阪府委託研修	サービス管理責任者 研修	H. M	2/12、2/16、2/17
		M. M	2/12、2/23、2/24
		Y. N	2/12、3/11、3/12
日本てんかん協会	てんかん講座	K. W	7/24、25

② 熊取町における定例会議など

主催など	会議名	日時
熊取町社会福祉協議会	団体連絡会	4/24、10/24
	地域貢献委員会	4/24、7/30、10/24、1/31
	地域貢献委員会小委員会等	9/3、10/8、10/9、11/28、1/5、 2/10、2/13
熊取町	施策推進委員会	10/29、12/24、2/17
	自立支援協議会	10/29、2/17

③-1 職場内研修 全体研修

今年度よりプラスマインドパートナーズの指導の下、全体研修を実施。

研修内容 虐待防止研修

講師 小西 繁雄氏

日時 第1回 2/11(水) 13:30~16:00

第2回 2/18(水) 13:30~16:00

法人内スタッフが2日にわたりほぼ全員参加しました。

内容については、非常にわかりやすい講義とグループワークを取り入れていただき、グループワークを取り入れていただいたことで連帯感を感じることができる研修となりました。

③-2 職場内研修 個別学習会

26年2月より、毎月第2、第4水曜日午後5時30分より希望者のみの学習会を実施。内容については、キャリアアップのためのセルフマネジメントから福祉情勢に至るまで、できる限りタイムリーな内容で実施。

16 避難訓練

日付	時間帯	集合場所	内容
4/25(金)	15:15	玄関	フロアからの避難
5/29(木)	10:15	園庭	日中活動からの避難
6/27(金)	16:00	玄関	フロアからの避難
7/28(月)	11:00	園庭	日中活動からの避難
8/29(金)	9:15	玄関	フロアからの避難
9/5(金)	11:05	3F娯楽室	地震・津波想定訓練
10/10(金)	13:00	園庭	消防立会の総合訓練
1/29(木)	9:30	玄関	フロアからの避難
2/23(月)	20:30	玄関	消防報告の自主訓練（夜間想定） 通報・消火

※ 防災計画（震災72H×69名対応）策定済み

※ 消防署立ち入り検査での指摘事項
防火扉の不具合 → 業者にて調整済み

17 広報活動

1. 配布物
「くまちゃんつうしん」・「相談室だより」
2. 発行日
毎月 1回
3. 配布先と配布部数

① 「くまちゃんつうしん」

手 配 り		郵 送	
配 布 先	部 数	配 布 先	部 数
朝代地区	6 5 6	施設関係	2 4
学校関係	7 6	行政関係	9 3
みくまホーム	5	学校関係	8
若葉ホームⅠ	3	企業関係	5 4
若葉ホームⅡ	3	医療関係	6
職員（パートタイマー込み）	4 8	牧野ホーム	1
		保護者	4 5
		その他	2 4 8
計	7 8 8	計	4 7 9
合 計			1 2 6 7

② 「相談室だより」

関係機関へ手配り

配 布 先	部 数
熊取町内小・中学校	8 0
熊取町教育委員会	5
佐野支援学校	2 1
熊取町内保育所・通園	1 8 0
熊取町こども家庭課	5
合 計	2 9 1

4. 印刷物の広報誌として

これまで療育園において作成、印刷をしてきました。昨年度より SNS サービスを利用することで、ネット上ではきれいなカラーの状態の皆様方に見ていただくことが可能になりました。

ワークいっぽが開所するにあたっては、このくまちゃん通信も印刷物としてもカラーにて提供させていただけるよう検討しております。

熊取療育園相談室

☆特定相談支援事業(指定)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
熊取町	計画作成	2	1	2	3	4	2	1	1	2	7	3	3	31
	モニタリング	10	10	10	8	9	10	14	11	10	12	14	15	133
泉佐野市	計画作成	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	5
	モニタリング	5	2	2	2	3	3	3	2	2	1	4	2	31
田尻町	計画作成	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	モニタリング	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
他市町	計画作成	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	モニタリング	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

☆障害児相談支援事業(指定)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
熊取町	計画作成	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	モニタリング	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4

☆一般相談支援事業(指定)

利用実績なし

☆熊取町障がい者相談支援事業(委託)

障害種別	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	78	3	2	42	29	0	1	1
障害児	4	0	1	2	0	1	0	0
計	82	3	3	44	29	1	1	1

支援方法	訪問	外来	同行	電話	メール	個別支援会議	関係機関連絡調整	その他
件数	151	51	39	249	9	21	395	0

計
915

支援内容	福祉サービス	障害や病状理解	健康医療	不安情緒安定	保育教育	家族関係人間関係	家計経済	生活技術
件数	261	26	164	52	10	141	50	53

支援内容	就労	社会参加余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	15	47	10	93	922

年間延べ数	相談ケース	自立支援協議会	その他(連絡会等)
人数・件数	722	30	33
時間数(分)	31988	3825	4975

☆グループ活動

活動日	活動内容	参加者	ボランティア
4月13日	たけのご掘り&花見	4	1
5月11日	バーベキュー	7	2
6月8日	茶話会&公園散策	5	2
7月13日	海遊館へ行こう	7	1
8月	悪天候につき中止	—	—
9月14日	空港見学	5	2
10月26日	茶話会&大阪府立弥生文化博物館を見学しよう	5	1
11月9日	ランチバイキングと温泉を楽しもう(ほの字の里)	4	2
12月14日	忘年会	5	2
1月11日	初詣&スーパー銭湯へ行こう	5	2
2月15日	大衆演劇を楽しもう	6	2
3月8日	茶話会「一年間の感想と来年度したいこと」	5	2
合計		58(10)	19(2)

※()内は実人数

☆色ワーク

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12(1)

※()内は実人数

☆その他

- ・熊取町障がい者相談支援事業の委託業務として、熊取町自立支援協議会の事務局業務がある。26年度は、月1回の事務局会議に加え、年間3回の協議会に出席。自立支援協議会において障害者週間の啓発イベントも企画、農業祭への町内通所施設における授産製品の展示即売を実施した。
- ・自立支援協議会には相談支援部会があり、部会委員としても参画。計画作成の割り振り、相談支援におけるケース検討などを行なった。
- ・熊取町障がい児ネット 2か月に1回程度
- ・たんぼぼの会(親の会) 年10回程度
- ・泉州南障がい者支援センター連絡会 月1回
- ・泉州コーディネーター連絡会 月1回
- ・福祉協会相談支援部会 年4回
- ・泉州南泉南ブロック進路指導関係機関連絡会 年3回
- ・泉佐野市・田尻町・熊取町事業所連絡会 年3回
- ・泉佐野市・田尻町自立支援協議会ケアマネジメント部会 月1回

☆課題

- ・計画作成数をどこまで増やせるか
- ・相談員の後任育成(法人内、地域内ともに)
- ・熊取町自立支援協議会の充実
- ・熊取町における児童発達支援センター設置についての協議
- ・サービス等利用計画の質の担保

障がい福祉サービス事業所 つばさ

1. 提供日数

239 日

2. 利用状況

事業名	利用延べ人数	事業別年間利用率（定員に対して）
就労継続支援B型事業	2546人	96.84%
生活介護事業	2665人	92.92%
つばさ全体	5211人	（定員に対して）94.80%

3. 利用者の推移

H. S 様 利用終了（平成 26 年 10 月 15 日）

K. I 様 利用開始（平成 27 年 3 月 2 日より）

4. 長期欠席（連続 7 日以上欠席）

利用者名	利用事業	期間	理由
K.T 様	生活介護	5/7～5/22	体調不良のため自宅加療
N.T 様	就労継続 B 型	5/2～5/30	体調不良のため自宅加療
K.T 様	生活介護	6/16～6/30	体調不良のため自宅加療
K.T 様	生活介護	12/2～12/12	体調不良のため自宅加療
M.K 様	生活介護	1/6～1/14	インフルエンザ感染のため
A.K 様 K.N 様 M.K 様	生活介護 生活介護 生活介護	1/6～1/12	同居されているグループホーム入居者の方がインフルエンザ感染のため
N.K 様 S.N 様	生活介護 生活介護	1/9～1/16	熊取療育園ご入居者様がインフルエンザ感染のため

5. 事故及びヒヤリハット

ご利用者

M.K 様 5/23 ウォーキング中に転倒。右手人差し指と右ひざに擦り傷。

N.T 様 9/26 興奮状態により車道へ飛び出そうとした際、つばさ敷地内にて転倒。左ひざに擦り傷。

車両事故

1/6 企業への納品時、信号待ちで停車中のところ、後方より追突される。

職員 1 名軽度の打撲。

ヒヤリハット

M.K 様 12/24 降所バスにおいて、誤って違うターミナルで下車。発車後、途中で気づきターミナルに戻る。ご本人様を発見し再度お送りする。

6. 職員の推移

職員 N.Y 1/1 より生活支援員として熊取療育園に異動

7. 事業所全体行事

日時	内容	場所	参加者数	備考
8/24	和光福祉会 30 周年記念 つばさイベント	つばさ	全利用者 全職員	舞台設置による カラオケ大会
11/30	地域交流フェスティバル	熊取療育園	全利用者 全職員	
1/5	初詣	意賀見神社 滝の池公園	利用者 21 名 職員 8 名	
2/3	節分	つばさ	全利用者 全職員	

8. 研修

① 職場内研修

月	研修テーマ	備考 参考・引用など
5 月	相談支援とサービス等利用計画及び個別支援計画	厚生労働省ホームページなどより
6 月	第 4 期障がい福祉計画	厚生労働省ホームページなどより
7 月	・個別支援計画の作成 ・社会福祉法人の在り方	厚生労働省ホームページなどより
8 月	・サービス提供のプロセスと管理 ・施設見学 ・施設見学の感想	厚生労働省ホームページなどより 「YELLOW」(泉佐野市)
9 月	・アセスメントについて	厚生労働省ホームページなどより
10 月	・サービス提供のプロセスと管理 ・権利侵害の事例を通して	厚生労働省ホームページなどより 知的障がい者福祉協会による虐待事例
11 月	・アセスメントと情報収集 ・法制度に関する情報 ・触法障がい者の理解と支援	厚生労働省ホームページなどより 厚生労働省ホームページなどより 東大医学部客員研究員・藤川氏の資料
12 月	個別支援計画の作成①	ロールプレイ方式
1 月	個別支援計画の作成②	ロールプレイ方式
2 月	個別支援計画の作成③	ロールプレイ方式

② 外部研修

日時	研修テーマ	出席者	備考
8/7	社会関係障がい研修 (SST)	O.N	
9/11	社会関係障がい研修 (SST)	K.Y	
8/2	YELLOW 施設見学	全職員	
10/6	触法障がい者の理解と支援	T.J	
2/12、3/13	大阪府サービス管理責任者等研修 (生活介護)	M.M	

9. 実習・見学・出張など

- ① 実習 : 7/8、7/15 大阪体育大学学生各 5 名 現場体験実習
 10/21～10/23 泉南支援学校高等部 3 年生 1 名 付添教諭 1 名
 8/19～9/29 大阪体育大学学生 1 名 社会福祉士課程実習
 11/11 大阪体育大学学生各 3 名 現場体験実習
 11/26 大阪体育大学学生各 3 名 現場体験実習
 12/3 大阪体育大学学生各 3 名 現場体験実習

② ボランティア

大阪体育大学学生 1 名 : 8/4、8/8

大阪大尉大学学生 1 名 : 10/15

テディベア様 : 12/24 のクリスマス会にてオカリナ演奏を披露していただきました。
 きょうりゅう様 (大阪体育大学学生サークル)

: 12/16 に紙芝居を披露し、歌体操を利用者様と一緒に楽しんでいただきました。

③ 見学

	見学者	目的
4/3、5/9、7/2 7/3、11/12、 11/13、1/14、 2/25、3/16	一般	施設見学
5/8	ひまわりの里 職員	施設見学
8/5	泉南支援学校本人及び保護者	施設見学
8/22	泉南支援学校本人及び保護者	施設見学
9/11	泉南支援学校 保護者	施設見学
10/21	南海福祉専門学校 学生	施設見学
10/30	関係機関 職員	施設見学

④ 出張など

出張の用件	実施日
大阪知的障がい者福祉協会 日中活動支援部会	4/14、10/16、11/20
障がい者総合支援制度における指定事業者集団指導	5/23
泉佐野・田尻町基幹相談支援センター設立式典	7/11
泉南支援学校第1回学習会	9/26
社会関係障がい研修 (SST)	8/7,9/11
熊取町団体連絡会 熊取町地域貢献委員会	4/25、7/30、9/5、2/13
大阪体育大学講義	10/29
防火対策講習会	11/7
生活困窮者自立支援法について	2/10

⑤ 地域貢献活動

熊取町地域貢献委員会の参加団体として、大人と子供のあいさつ運動に各学期初日から1週間参加、11/2、11/3には広報活動として町民文化祭に参加。

⑥ その他

- 11/2、11/3 熊取町民文化祭 ご利用者による自主商品の販売と作品展示
- 12/7 熊取町ふれあい農業祭 ご利用者による自主商品の販売
- 1/8 熊取町人権フェスティバル ご利用者による自主商品の販売

10. 消防、防災について

消防計画に則り、避難や避難経路確認、避難誘導訓練を実施。

11. 各事業報告

別紙参照

生活介護事業

1. 経過

I期では、春先は数名のご利用者に風邪や花粉症から鼻水が見られたが、元気に活動を行うことが出来ている。

初夏より、熱中症予防として11時・14時に給水を案内する声掛けを行う。

ご利用者の「主体性」を引き出すことを目的に、『自身の想いや抱負』を発表する場面を設けるなど、新たな取り組みを行う。

II期では、町民文化祭・地域交流フェスティバル・クリスマス会とイベントが多く、それに向けての活動を重点的に行う。どのご利用者もイベントに向けてのモチベーションが非常に高く、積極的に活動を行うことが出来ている。

12月よりボランティア主体での活動を本格的に取り入れる。

クリスマス会ではボランティアグループ“テディベア”様よるオカリナの演奏や、ご利用者の合唱発表などで楽しい時間を過ごす。

III期では、インフルエンザ感染及びその影響のあった方が6名のご利用者がおられた。

また、「はたらく」ことの楽しさを味わって頂くことを目的に、イオンりんくうにて、活動で得た分配金を使った食事会を実施した。メニューの品数が多く、料理を味わう楽しさだけでなく、選ぶ楽しさも体感することが出来た。

2. 活動内容

① 健康増進・維持活動

月・水・金のウォーキングでは、午前が長距離コース、午後が短距離コースとして設定しご利用者に自由に選んで頂き、活動を実施。

体操では、ラジオ体操やストレッチ体操だけでなく、映像を見ながら行ったり、時には風船やボールを使ったりしながら、体操を楽しんでいただいた。

② ものづくり

自身の作品作りや季節等をテーマに共同で作品の制作を実施。

	テーマ	個人の作品作り
4月	端午の節句	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
5月	紫陽花	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
6月	花火・七夕	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
7月	メジーナちゃん	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
8月	メジーナちゃん	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
9月	メジーナちゃん	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
10月	メジーナちゃん	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
11月	クリスマス	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
12月	クリスマス	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
1月	作品展に向けて	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
2月	作品展に向けて	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど
3月	作品展に向けて	貼り絵、切り絵、面作り、コースター作り、パッチワークなど

③ はたらき

不燃糸のリサイクル作業：紙管からの糸取り及び分別・分別した紙管の潰し

空き缶リサイクル作業：空き缶の分別・空きアルミ缶潰し

ペットボトルのリサイクル作業：ペットボトルの洗浄・ラベルはがし

牛乳パックのリサイクル作業：紙すきおよび自主製品の製作

収益については、1期（4月～7月）分、2期（8月～11月）分、3期（12月～3月）分でご利用者にて工賃規定に則り、給与という形で分配した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紙管残糸処理	60	75	60	60	150	105	105	60	60	60	90	45	930
空缶販売	2,738	1,918	2,738	1,548	3,256	5,809	5,620	3,298	5,207	3,558	2,813	3,353	41,856
ペットボトル	710	350	236	105	175	280	350	280	172	147	126	70	3,001
自主製品売上げ					50		1550	7090	5280	4900		1350	20,220
その他													0
合計	3,508	2,343	3,034	1,713	3,631	6,194	7,625	10,728	10,719	8,665	3,029	4,818	66,007

表1 各部門 収益

	収益総額	経費	分配額	利用者数	繰越額	備考
1期	10,608	0	700	12	2208	収益総額には前年度繰越金10円含む
2期	28,178	1944	1109	12	15430	利用者1名 813円支給
3期	27,231	8147	3137	11	7	
合計	66,017	10091	4946		7	7円は次年度へ繰り越す

表2 給与（分配金）詳細

④ 音楽活動

週4回ある音楽活動では、選定した曲にあわせて歌ったりダンスをして楽しむ。

また、木曜日は午前と午後にグループ別でカラオケを実施。年に1度、その成果を発揮する舞台として、カラオケ大会やイベントでの発表を行う。

⑤ レクリエーション

月に1回程度、レクリエーションを実施。

	内容	場所	備考
4月	花見	滝の池	
5月	運動・ボール遊び	町民グラウンド	
6月	季節の花の観賞	和泉リサイクル環境公園	
7月	紅白カラオケ大会	つばさ	
8月	納涼会	つばさ	
9月	散策	りんくう公園	
10月	運動・ボール遊び	町民グラウンド	
11月	焼き芋	ふれあい広場	ボール遊びも実施
12月	クリスマス会	つばさ	テディベア演奏会 およびご利用者発表会実施
1月	初詣	意賀美神社	滝の池公園にて休憩
2月	節分豆まき	つばさ	
3月	食事会	つばさ	イオンりんくう泉南 1F 『黒長兵衛』で実施

表3 レクリエーション実施一覧

⑥ フリータイム

14時30分からティータイムまでの30分間で実施。それぞれ自分のしたい活動やスタッフとの面談などご利用者の気持ちよく降所していただくよう支援する。それぞ

れが思い思いの活動を行うことができていた。

3. その他

前年度から行っている「立体貼り絵」については、更に精度を上げた作品になるよう取り組んでいる。それ以外には、新しい取り組みとして「コースター作り」を実施した。また、希望のあったご利用者については機能訓練的な要素を含んだ活動を行う。

12月よりボランティア主体の活動を本格的に実施し、ご利用者の皆さんが積極的に取り組む姿が見られた。職員以外の方と接することで、活動や支援の幅が広がり、ご利用者においても新鮮・興味を感じながら参加していた。

次年度においても、自主性を促しながら支援を行い、共感・達成感を味わってもらえるような取り組みを行っていく。

就労継続支援 B 型事業

1. 事業の目的

仕事を主題として日々の充実を図る。

就労への前段階の訓練を行うご利用者、“つばさ”という職場に働きに行くという感覚を持ってもらうご利用者など、ご利用者各々の課題に則った支援を行う。

その中から、社会生活に必要な技術を身につけるような取り組みと、就労に向けた取り組みを検討、実施する。

2. 活動内容

現在取引のある各企業より依頼のあった仕事を優先的に取り組む。

企業からの仕事以外に清掃活動を収益にできるよう、関西聖地霊園様にて清掃活動始める。

3. 取引先との状況

① 古谷ダンボール

昨年度と同様に、1日当たりの生産数は減少してしまっているが、資材供給においては問題ない。紙管の横にボンドが付着してしまうという問題が生じ、その都度改善策を試行している状態が続く。

② 喜納金属

常時仕事があるわけではなく、3カ月程仕事があれば、その後2～3カ月は仕事がない状態。仕事のペースをある程度把握できていることもあって、納品の交渉もスムーズにできており、納期に間に合わないような事態はなかった。

③ 新家樹脂化工

特にクレームや問題もなく資材提供ができていた。また、11月よりトレー1枚当たりの工賃が上がっており、売上げも大きく影響している。

先方の都合により今年度で事業を閉鎖するとのことで、以後はスミノ化工で担ってもらうとの事。

④ (有)三誠プロダクト

大きく変わった仕事はないが、従来の仕事においてミスが見られることがあり、その都度修正をしている。また、単価が安価なため数をこなしても大きな収益はあげられていない。

⑤ 中谷梱包所

特にクレームや問題はなく、1日の仕上げ数もある程度固定されてきている。そのため、先方から最低数を設定されるようになる。

⑥ ツバメタオル

特にクレームや問題もなく、資材提供ができていた。急ぎの仕事に対してもご利用者の普段のペースで十分対応できている。

⑦ スミノ化工

資材の供給が少し不定期的な面がある。その原因として、仕事はあるものの、2日間で仕上げなければならない程忙しい様子。

先述の新家樹脂化工からトレーの移行については、少し時間が必要との事で、すぐにトレーの仕事が再開するとは限らない様子。

4. 利用者の担当

基本的な担当を下表に示す。中谷梱包所の型入れの機械操作を常時誰かに担ってもらうようにする。

	主	副
Fダンボール	M.R	
S化工	K.Y	N.T,N.M
Sプロダクト	M.Y	
K金属	Y.H	M.Y,M.R,K.Y,N.T
N梱包所	N.T,S.K,S.A,N.T,N.M	Y.H,M.Y,K.Y
Tタオル	N.T,K.O	
S化工	K.O	

5. 売り上げについて

前年度と比較して、ほとんどの企業の売上が横ばい状態だったが、新家樹脂化工と中谷梱包所の売り上げが伸びており、その影響で年間の総収入が昨年度より約10万円伸びている。

1月はインフルエンザによる欠席が続き、その影響で売上が落ちている。その反面2月は月間収益が初めて10万円を超えている。

仕事名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
Fダンボール	¥8,075	¥6,175	¥9,500	¥7,600	¥6,650	¥8,550	¥8,075	¥7,600	¥6,650	¥7,125	¥9,025	¥7,125	¥7,679
S化工	¥4,358	¥3,302	¥5,596	¥7,004	¥4,100	¥5,836	¥6,504	¥12,800	¥11,630	¥8,430	¥13,200	¥5,754	¥7,376
Sプロダクト	¥3,856	¥0	¥6,097	¥5,026	¥841	¥4,346	¥2,124	¥3,384	¥1,726	¥1,656	¥2,140	¥3,614	¥2,901
Tタオル	¥14,170	¥19,490	¥14,460	¥15,740	¥10,970	¥4,920	¥23,040	¥14,860	¥18,520	¥18,110	¥17,980	¥15,087	¥15,612
段ボール	¥0	¥0	¥0	¥1,790	¥0	¥0	¥0	¥0	¥1,660	¥0	¥0	¥0	¥288
K金属	¥10,600	¥8,850	¥2,700	¥0	¥0	¥8,750	¥9,650	¥3,750	¥2,595	¥0	¥0	¥0	¥3,908
N梱包所	¥24,615	¥27,297	¥33,921	¥30,438	¥28,728	¥32,121	¥29,052	¥33,057	¥29,457	¥21,366	¥33,615	¥31,599	¥29,606
S化工	¥5,175	¥4,695	¥0	¥2,795	¥3,540	¥12,560	¥7,120	¥8,120	¥3,370	¥6,755	¥25,810	¥12,520	¥7,705
清掃事業									¥1,250	¥820	¥1,250	¥1,250	¥1,143
売上合計	¥70,849	¥69,809	¥72,274	¥70,393	¥54,829	¥77,083	¥85,565	¥83,571	¥76,858	¥64,262	¥103,020	¥76,949	¥75,455

6. 工賃について

昨年度と比較して、売上げが伸びたことで全体の平均工賃も約 12%伸びている。特に2月には初めて1万円の工賃を受給したご利用者もおられた。

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	平均
M.R	¥6,555	¥6,351	¥6,825	¥6,497	¥5,162	¥7,091	¥7,756	¥7,632	¥6,956	¥5,955	¥9,401	¥6,861	¥6,920
N.T	¥6,542	¥6,600	¥7,037	¥6,759	¥5,490	¥7,260	¥7,849	¥7,944	¥7,101	¥5,738	¥9,557	¥7,347	¥7,102
S.K	¥5,928	¥5,917	¥6,174	¥5,945	¥4,721	¥6,434	¥7,085	¥7,008	¥6,431	¥5,333	¥8,632	¥6,254	¥6,322
M.Y	¥6,005	¥5,626	¥6,315	¥6,017	¥4,365	¥6,502	¥7,033	¥7,046	¥6,293	¥5,240	¥8,447	¥6,308	¥6,266
K.Y	¥5,990	¥5,845	¥6,246	¥6,084	¥4,713	¥6,784	¥7,043	¥7,765	¥7,212	¥5,723	¥9,432	¥6,221	¥6,588
N.T	¥6,200	¥6,450	¥6,274	¥6,269	¥4,870	¥6,297	¥7,978	¥7,320	¥6,970	¥6,413	¥9,240	¥6,884	¥6,764
Y.H	¥6,322	¥6,134	¥6,024	¥5,641	¥4,501	¥6,647	¥7,091	¥6,815	¥6,264	¥4,660	¥8,372	¥5,974	¥6,204
N.M	¥5,692	¥5,672	¥5,838	¥5,547	¥4,466	¥6,167	¥6,881	¥6,770	¥6,212	¥5,025	¥8,358	¥5,792	¥6,035
N.T	¥4,958	¥4,391	¥4,923	¥4,656	¥3,521	¥6,050	¥7,131	¥6,282	¥5,844	¥4,895	¥7,570	¥5,792	¥5,501
K.O	¥6,743	¥7,026	¥6,505	¥6,614	¥5,208	¥7,300	¥8,285	¥8,350	¥7,644	¥6,342	¥11,595	¥6,736	¥7,362
S.A	¥5,908	¥5,942	¥6,186	¥6,000	¥4,840	¥6,618	¥7,183	¥7,108	¥6,556	¥5,412	¥8,726	¥6,432	¥6,409
I.K												¥2,572	¥2,572
平均	¥6,077	¥5,996	¥6,213	¥6,003	¥4,714	¥6,650	¥7,392	¥7,276	¥6,680	¥5,521	¥9,030	¥6,098	¥6,471

共同生活援助事業

1. 支援体制（事業全体）

①事業形態

全体では4ホーム3事業体制で実施。

- ・8月より外部サービス利用型グループホームへ3ホーム移行（若葉ホーム・第2若葉ホーム・みくまホーム）→受託居宅介護事業を利用開始。
- ・牧野ホームは包括型グループホームのまま継続。

②連携（バックアップ）事業所

つばさにおいて、夜間および休日の連絡体制を整備し、緊急時における支援を実施。

③若葉ホーム、第2若葉ホーム、みくまホームは外部サービス利用型グループホームとして8月より実施。居宅介護事業「わこう」に受託居宅介護を委託開始。

④牧野ホームは介護サービス包括型として継続。

⑤スタッフ配置

管理者・サービス管理責任者（兼任） 1名配置

生活支援員 4月時点で常勤3名配置

8月より常勤2名に配置変更

（外部サービス利用型グループホームへ変更したため）

9月より常勤1名に配置変更

（生活支援員配置基準に沿って配置変更したため）

事業全体 主たる世話人4名（各ホーム1名ずつ配置） 世話人17名

勤務体制 3ホーム2事業（若葉ホーム事業、みくまホーム事業）は24時間体制をおこない、入居者が1名でもホーム滞在されるときはスタッフ配置を実施。また、8月からは宿直体制から夜勤体制に夜間支援に変更。夜間の支援強化を図りました。

牧野ホームについては、同居型ホームとしてすぐそばに世話人が滞在し緊急時対応ができるようにおこない、緊急用携帯を夜間支援の対応として常時設置しホームスタッフとの連絡が常にとれるように配置しました。

⑥スタッフの動向

氏名	日付	職種	摘要
Y. K	平成26年8月1日	生活支援員	居宅介護事業へ移動
E. M	平成26年9月1日	生活支援員	居宅介護事業へ移動
M. M	平成26年10月1日	世話人	採用
M. O	平成27年3月31日	世話人	退職

2. 利用者支援

①グループホーム利用者ミーティング

4月の第1回目に年間計画をホーム事業利用者全体で話し合いをおこない、その計画に従って実施。

選択外出は、5種類の外出先を提示して希望の行き先を3カ所まで選んでいただきました。

実施日	実施内容	実施場所	参加者	参加スタッフ
4月20日	茶話会	つばさ	21名	職員4名 居宅介護職員1名
5月11日	災害体験	和歌山市消防局防災学習センター	10名	職員3名 居宅介護職員1名
5月18日	災害体験	和歌山市消防局防災学習センター	11名	職員2名 居宅介護職員1名
6月7日	避難訓練	みくまホーム、牧野ホーム	7名	職員3名 世話人1名
6月21日	避難訓練	若葉ホーム、第2若葉ホーム	10名	職員4名 居宅介護職員1名
7月6日	選択外出	カラオケ	9名	職員2名
7月20日	選択外出	ボーリング	8名	職員2名
8月14日	お盆行事 (お盆休暇中の特別行事)	つばさ	14名	職員3名 居宅介護職員2名 つばさ職員1名
8月17日	納涼祭	つばさ	19名	職員3名 居宅介護職員2名 つばさ職員1名 世話人5名
9月7日	選択外出	グリコピア神戸	6名	職員1名 居宅介護職員1名 つばさ職員1名
10月18日	スポーツフェスタ (選抜参加)	ヤンマースタジアム長居	6名	職員1名 居宅介護職員1名
10月19日	選択外出	サバーファーム	8名	職員1名 居宅介護職員1名
11月16日	選択外出	ハーベストの丘	15名	職員1名 居宅介護職員2名
11月30日	地域交流フェスティバル	熊取療育園	20名	職員2名 居宅介護職員3名
12月21日	クリスマス会	つばさ	21名	理事長 職員2名 つばさ職員3名 居宅介護職員3名 世話人4名
1月18日	新年会	つばさ	21名	副理事長 職員2名 居宅介護職員3名 世話人5名
2月15日	避難訓練	各ホーム	20名	職員2名
3月23日	選択外出	しあわせの村	13名	職員1名 居宅介護職員3名 世話人1名

※グループホーム利用者ミーティングの参加・不参加についてはご本人の判断に委ねています。

②生活支援

利用者の高齢化、医療的ケアが必要な方が増えたことに伴い通院の付添や介助等の健康管理面での業務を実施。8月からは日常の生活支援面では入浴介助などの業務が増加に伴い居宅介護事業への受託居宅委託により身体介護面の充実化を図りました。また個別のニーズに答える支援としては、買い物の同行や自室の整理、余暇支援の外出付添、ガイドヘルパー事業所・ケアマネージャーとの調整、熊取町の参加型健康増進の取り組みなど実施しました。

③利用者の平均年齢

平均年齢 55.8 歳（最年少 25 歳 最高齢 78 歳）

3. 会議・研修

①主たる世話人ミーティング

- ・各ホームの主たる世話人と副理事長、管理者（サビ管）、生活支援員 1 名、熊取療育園看護師、熊取療育園管理栄養士、居宅介護事業管理者出席で会議を毎月第 2 金曜日に定例で実施。
 - ・会議内容は、全体での報告のほか、各ホームでの栄養面や健康面での相談、利用者支援における論議など、その月々によって議題を設定して実施。
- また、その会議の報告を各ホームの世話人に伝達することを徹底しました。

②世話人ミーティング

- ・ホームごとに管理者（サビ管）、生活支援員、主たる世話人、世話人、居宅介護事業管理者で参加できる者で概ね月に 1 回のペースで実施（必要時には臨時のミーティングも開催）。
- ・会議内容は、ケース会議や支援についての相談、研修の報告など。

③研修

研修参加実績

日時	研修内容 題目	主催	参加者
6/13	所内全体研修		世話人を含め全員
7/24～25	全国GH等研修会	日本知的障害者福祉協会	A. T
9/25	地域支援部会	大阪福祉協会	A. T
11/17	地域支援部会	大阪福祉協会	A. T
1/23	地域支援部会	大阪福祉協会	A. T
2/12～13	近畿地区知的障がい関係施設職員研修会	近畿地区知的障害者施設協会	A. T
2/20	所内全体研修		世話人を含め全員
3/18	地域支援部会	大阪福祉協会	A. T

4. 各ホーム事業の状況

①若葉ホーム事業

若葉ホーム（定員 5 名）

※8 月～ 外部サービス利用型グループホーム

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	障がい判定	日中活動など
A. S	男	55	4	療育手帳 A	つばさ（就 B）
K. S	男	56	3	療育手帳 A 身体障害手帳 5 級	つばさ（就 B）
M. N	男	61	3	療育手帳 A 精神健康保健手帳 2 級	つばさ（就 B）
H. K	女	41	1	療育手帳 B1	就労
S. K	女	78	3	療育手帳 B1	介護デイサービス

- ・ 移動支援事業利用者 5 名
- ・ 日常生活支援事業利用者 3 名
- ・ 成年後見制度利用者 1 名

2) 支援体制

世話人体制（4：1） 主たる世話人 1 名 世話人（夜勤勤務含む） 7 名

3) 支援における特記事項

H. K：一人暮らしを目標としてサテライト事業に向けた取り組みをおこないました。2～3 月はサテライト事業に向けての体験利用としてワンルーム型ハイツを利用して、2 泊 3 日から始め徐々に体験利用日数を増やしていきました。体験利用を通して 27 年度以降の生活スタイルについて大きく前進できる自信を持たれることができるようになりました。

A. S：雨天時等以外は夕方 1 時間程度の歩行をおこない、体重コントロールを図りました。毎月 1 回熊取町の健康取り組みとしておこなわれる「健康くまとり探検隊」に参加し、熊取町内約 6～8 km を名所などの説明を聞きながら歩いて健康増進を図りました。

※8 月～外部サービス利用グループホームへ移行したことにより受託居宅介護事業利（4 名）開始になりました。

4) その他

- ・ 業務軽減のため、いずみ市民生協を 1 回／週で利用。
- ・ 若葉自治会の行事（清掃）にスタッフが参加。
- ・ A E D を設置継続。

第2 若葉ホーム（定員6名）

※8月～ 外部サービス利用型グループホーム

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	障がい判定	日中活動など
T. O	男	52	2	療育手帳A	就労
T. N	男	51	2	療育手帳A	つばさ（就B）
M. I	女	47	4	療育手帳A	つばさ（生活介護）
K. O	女	49	4	療育手帳A	熊取療育園（生活介護）
H. F	女	71	3	療育手帳B1	介護デイサービス
H. Y	女	73	4	療育手帳A	介護デイサービス

- ・ 移動支援事業利用者 5名
- ・ 成年後見制度利用者 2名

2) 支援体制

世話人体制（4：1） 主たる世話人 1名 世話人（夜勤勤務含む）5名

3) 支援における特記事項

T. N：雨天時等以外は夕方 1 時間程度の歩行をおこない、体重コントロールを図りました。毎月 1 回熊取町の健康取り組みとしておこなわれる「健康くまとり探検隊」に参加し、熊取町内約 6～8 kmを名所などの説明を聞きながら歩いて健康増進を図りました。

M. I：雨天時等以外は夕方 1 時間程度の歩行をおこない、体重コントロールを図りました。毎月 1 回熊取町の健康取り組みとしておこなわれる「健康くまとり探検隊」に参加し、熊取町内約 6～8 kmを名所などの説明を聞きながら歩いて健康増進を図りました。

K. O：雨天時等以外は夕方 1 時間程度の歩行をおこない、体重コントロールを図りました。

H. F：H26.2月より意識喪失・痙攣発作が1～2ヶ月に1度出るようになり救急搬送もおこないました。「てんかん」の診断があり発作が起こりにくくように投薬開始となりました。投薬後は痙攣発作が起きにくくなりました。しかし時折発作の兆候がみられるようになり主治医と相談しながら投薬のコントロールを継続しておこなっています。

※ 8月～外部サービス利用グループホームへ移行したことにより受託居宅介護事業利用（6名）開始になりました。

4) その他

- ・ 業務軽減のため、いずみ市民生協を1回／週で利用。
- ・ 若葉自治会の行事（清掃）にスタッフが参加。

②みくまホーム事業

みくまホーム（定員 5 名）

※8月～ 外部サービス利用型グループホーム

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	障がい判定	日中活動など
N. K	男	55	4	療育手帳A	つばさ（生活介護）
K. N	男	62	4	療育手帳A 身体障害手帳3級	つばさ（生活介護）
K. A	女	66	3	療育手帳A	つばさ（生活介護）
K. M	女	64	5	療育手帳A	つばさ（生活介護）
M. N	男	39	3	療育手帳A	ささゆり作業所

・移動支援事業利用者 5名

2) 支援体制

世話人体制（4：1） 主たる世話人 1名 世話人（夜勤勤務含む）4名

3) 支援における特記事項

8月～外部サービス利用グループホームへ移行したことにより受託居宅介護事業利用（5名）開始になりました。

4) その他

- ・業務軽減のため、トゥルーグレイスを2回／週で利用。
- ・美熊台自治会の行事（清掃）にスタッフが参加。
- ・AEDをホームに設置継続。

③牧野ホーム事業

牧野ホーム（定員 5 名）

※介護サービス包括型グループホーム

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	障がい判定	生活支援員配置基準	日中活動など
A. A	男	25	1	療育手帳B1	なし	就労
K. I	男	25	3	療育手帳B2	1：9	就労、つばさ（就B）
N. T	男	68	3	療育手帳A	1：9	介護デイサービス
H. S	女	68	3	療育手帳A	1：9	介護デイサービス
T. H	女	66	3	療育手帳A	1：9	つばさ（生活介護）

・移動支援事業利用者 3名

・日常生活支援事業利用者 2名

・成年後見制度利用者 1名

2) 支援体制

世話人体制（5：1） 主たる世話人 1名 世話人（宿直体制） 1名

生活支援員（2.7H/1日）

3) 支援における特記事項

K. I：職場を2月20日付で退職。3月からつばさ（就B）の利用開始となりました。

5. ヒヤリハット・事故報告

利用者名	日時	内容	対応
H. K	5/2 19:00	食事中に意識喪失状態	救急搬送をおこない処置後、ホームへ戻る
H. Y	6/14 8:30	誤薬	N sの指示を仰ぎ服用調整をおこなう
H. K	2/4 19:00	誤薬	服用調整をおこなう
M. N	3/6 7:45	転倒による肩脱臼	通院をおこない処置

6. 次年度に向けての課題

- ①単独に近い生活を希望されている方もおられ、少しでも環境を整えられるようにホームの形の捉え方について柔軟にできるように体制を整えていく。
- ②高齢、医療面での配慮が必要な方に対しての配慮を継続しておこなっていく。
- ③年齢層の幅が大きくなってきているので、若年層に対してのアプローチ・中高年齢層に対するアプローチについての検討をおこなう。

わこう

1. 事業開始 平成 26 年 7 月 1 日
2. 事業の目的 支給決定を受けたご利用様が居宅等において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、従業者がご利用様の身体やその他の状況及び環境に応じて、適正な指定居宅介護事業を提供することを目的とする。

3. 人員配置及び職員の推移

管理者・サービス提供責任者 1 名（兼任）
常勤ヘルパー 3 名

職員 I.T 7 月末で退職

職員 M.E 8 月より“わこう”へ異動

4. 事業の内容

法人のグループホーム（3 か所：若葉ホーム、第 2 若葉ホーム、みくまホーム）を外部サービス利用型として受託居宅介護サービスの身体介護を実施。

5. 支給決定を受けたご利用様の支給量と実績

	支給量（時間/月）	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
K.S（女）	5.0（H26.8～）	4.0	3.0	3.5	4.5	4.5	4.0	3.0	3.5
S.A（男）	15.0（H26.8～）	14.5	15.0	12.0	15.0	15.0	15.0	9.75	11.0
K.N（男）	13.0（H26.8～）	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
M.K（女）	37.0（H26.12～）					19.5	36.0	36.0	35.0
S.K（男）	21.0（H27.1～）						12.0	9.75	9.5

5 名の方のみ支給量が決定されており、支給決定を受けたご利用様から順に実施。

6. 移動支援に向けて

次年度の移動支援事業申請を視野に入れた準備段階として、熊取療育園ご利用者様の外出を計画・実施する。基本的に公共交通機関を利用する形をとる。

月日	場所	人数	月日	場所	人数
10/8	関西国際空港	1	2/3	いこらモール	2
10/14	泉南イオン	1	2/10	いこらモール	2
10/30	日根野イオン	2	2/25	りんくうシークル	2
11/10	日根野イオン	2	2/26	泉南イオン	1
11/17	日根野イオン	1	3/11	泉南イオン	1
12/15	三笠の湯	1	3/12	関西国際空港	2
12/17	三笠の湯	2	3/19	いこらモール	2
12/22	関西国際空港	1	3/26	泉南イオン	2